

路線バスの持続可能性の確保に向けた取組について

1 概要

市内の路線バス4路線（岡田線、佐布里線、朝倉団地線及び日長団地線）のうち岡田線、佐布里線及び日長団地線は、市が補助金を交付して運行しています。コロナ禍以前に比べると利用者は少ない状況であり、将来にわたって持続可能な路線として存続できるよう、路線の利便性向上等を目的とした見直しについて、運行事業者と定期的な意見交換を行っています。

2 これまでの取組

令和4年3月	岡田線、佐布里線の名鉄特急電車に合わせたダイヤの見直し
令和5年3月	日長団地線の終バス時間の延長
令和6年3月	日長団地線のルートへの延伸

3 現在の利便性向上の取組

バス乗降調査等の結果をもとに適宜検討を行っています。



●佐布里線における仮説の整理（検討段階）

その他にも

- ・梅まつり期間の休日ダイヤの増便
- ・路線バス通学定期券購入補助金
- ・G T F Sデータの作成・反映 など



グーグルマップでバス停等の検索ができます

① 課題

- ・朝夕の一部区間において利用者が少ない便が存在する。
- ・早朝は朝倉駅 ➡ 佐布里方面、夕方は佐布里方面 ➡ 朝倉駅の利用が少ない。
- ・通勤通学を目的とする利用がほとんど。

② 改善に向けた仮説

- ・朝夕の利用が少ない便について、通学需要の可能性を踏まえ、知多翔洋高等学校を経由する便の経路設定の可否を検証することで、利用者増加の可能性があるのでないかと仮説を整理しています。

③ 今後の進め方

- ・既設利用者への影響の整理
- ・電車との接続状況
- ・バス停候補地の安全性・設置可能性
- ・高校生へのニーズ調査



⇒ 引き続き、運行事業者と課題整理及び検討を行い、適宜、地域公共交通会議で報告します。